

西部センターだより 1号

H27.4.15

石見地域で輝く人と教育

津和野町では、学びの協働推進事業がそれぞれのエリアで積極的に進められています。この事業は、子どもたちに津和野への愛着と誇りを育むために、地域と学校が協働して取り組む「ふるさと教育」です。2月18日に、日原山村開発センターで報告会があり出席しました。それぞれのエリアの発表は、子どもはもちろん、関わった大人たちも喜びや学びがある素晴らしい内容でした。



閉会の折に、あいさつの機会を頂戴しました。その中で、地元出身の画家である安野光雅さんの事に触れました。ご本人は、「故郷とは自分の子ども時代のことである」と著書の中で書かれています。故郷津和野をいつも愛おしみ、誇りをもって生涯忘れられぬ場所と考えられています。故郷を描いた画集「津和野」は、町外の私にも懐かしさをもたらす作品でした。こうした大人を育てるのが、正に津和野町の事業だなと強く感じました。

この地になじみの深い人物の話をもう一ついたします。先月、春の陽気に誘われて再びここを訪れました。古刹永明寺（ようめいじ）の山門をくぐると、左手墓地の一隅に、森林太郎墓と大きく刻まれた墓があります。周囲と異なりその墓前には、梅の木や白菊が手向けられていました。ここに分骨された森林太郎（鷗外）は、故郷にどんな思いを持っていたのでしょうか。宝物館に展示されている遺言状には、確かに「余ハ石見人森林太郎トシテ死セント欲ス」と書かれていました。彼は、生まれてから10年余りしか津和野で過ごしていません。けれども、遺言状にここまで書かせた彼の強い思いの訳とは何だったのだろうかと考えさせられました。

ここに紹介した二人は、故郷に対して深い思い入れがある津和野人だと言えます。誤解を恐れずに言えば、このような人を育てることこそが「ふるさと教育」ではないでしょうか。昼下がりの永明寺を後にして、ふと見上げると右手に黄色の花々をつけた木が目にとまりました。冬枯れの木に咲いたサンシュユでした。思わず心とむ光景にも出会えました。大変徳をした気分になりました。

話は変わります。島根大学の肥後功一副学長（当時の役職名）は、しまねの教育で重要な教育は3つあるとおっしゃいました。前述した「ふるさと教育」、そして「キャリア教育」に加えて「保護者教育」です。最後の教育は、「家庭教育」と読み替えることができます。

当センターでは、「家庭教育」支援のひとつとして親学プログラム2を今年9月に完成予定です。現行プログラムと共にご活用いただき、今年度も当センターに格別のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

所長 狩野 正夫

放送大学島根学習センター浜田コーナー

放送大学は、テレビ・ラジオ・インターネットによって学ぶことのできる遠隔教育大学です。

研修センター内には、島根県西部地域に居住する学生が放送教材（テープ）の視聴、貸出を受けることができるように再視聴施設が設置されています。

年に2回の入学チャンスがあります。興味のある方、入学を考えている方、一度浜田コーナーで試聴体験をしてみませんか？



図書閲覧コーナー

社会教育・生涯学習等に関する図書約1,600冊があり、貸出もしています。貸出期間2週間（5冊まで）

<図書ジャンル>

社会教育・生涯学習、公民館関連、子育て、教育・学校、青少年問題、人権同和教育、地域づくり、ボランティア、国際理解、男女共同参画、高齢者関係、環境、研修関係、島根県関連、社会一般 その他



対象者別研修

社会教育にかかわる人材養成研修

○市町村社会教育担当者研修

これまで、県内2ヶ所で開催していましたが、**全県1回**の開催になります。社会教育担当者として必要な専門的知識・技能を学ぶ他に広域に渡る情報交換ができます。また今年度は、“**家庭教育支援**”をテーマとした講義・演習を行います。

○公民館等職員研修

東部・西部で各2回開催していましたが、**5回シリーズ研修**になり、**5回目は東西合同開催**となります。公民館等職員として必要な専門的知識・技能を学ぶとともに、事業立案において、評価を意識した PDCA サイクルによる事業展開の実際を学べます。

○社会教育委員研修

県内3ヶ所で開催していたのを、**2ヶ所開催**としました。県内実践発表の他に県外講師による講義を予定しています。

○コーディネーター研修

人権感覚や人権意識を高めるための講義・演習等が加わります。

○「親学プログラム2」対応親学ファシリテーター養成講座

昨年度の、「新プログラム対応親学ファシリテーター養成講座」を、「**親学プログラム2(ツォー)**」対応ファシリテーター養成講座と名称変更します。

全体研修

○しまねの社会教育基礎講座[新規]

社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育行政事業等を学んだり市町の取組みを知り、今後の方向性を話し合います。

社会教育主事講習 [B]

○つなぐ・つながる実践発表交流会

島根の元気な“子どもを支える人たち”の実践を集め、参加者同士がつながり、実践と実践を結ぶ場とします。参加者は、**広く県外**にも呼びかけます。シンポジウムは“**家庭教育支援**”をテーマとして開かれる予定です。

社会教育にかかわる調査・研究

市町村支援

学習相談

社会教育の情報提供

事業の詳細については、センターまでお問合せください。
日程等は、ホームページでも確認できます。

スタッフ紹介（即答フリップ方式自己紹介）

- Q1. 新年度を迎えた今の気持ちを一言で！ Q2. 今年度、どんな年にしたい？
Q3. あなたのセールスポイントは？ Q4. 今、はまっていることは？

花田 健司(ハナダ ケンジ)

<研修調査スタッフ・社会教育主事>

- ・ハラハラ ♥
- ・たくさんの人と楽しい年
- ・声大きい
(オペラ調でも歌えます♪)
- ・地域のつながりづくり

通勤距離が格段に短くなったため、朝の時間に余裕をもつようになりました。これまでまかせ放しだったゴミ出しや掃除機かけをして家事分担率を上げたり、朝のジョギングや自転車に乗って景色を楽しみながら健康づくりをしたりなど、あれもこれもしたいと考えています。どれが長続きするかわかりませんがとにかくやってみようと思います。

松原 聡(マツバラ サトシ)

<研修調査スタッフ・社会教育主事>

- ・ワクワクドキドキハラハラ ♥
- ・前進
- ・誠実？
- ・筋カトレーニング

(目指せ→腹筋割れ！)

新メンバーです！

永井 宏子(ナガイ ヒロコ)

(庶務担当)

- ・緑色の若葉
- ・世界安定の年
- ・率直
- ・テニス
(エア・ヒロコ習得まであと〇〇歩)



狩野 正夫(カリノ マサオ)

<所長>

- ・初心にかえる
- ・仕事も趣味も頑張る
- ・頼まれたことは快く引き受ける
- ・旅行
(漫遊記執筆も間近か？)

家田 ゆかり(イエダ ユカリ)

(学習相談・放送大学コーナー担当)

- ・ワクワク♪
- ・一歩前進の年に！
- ・一生懸命
- ・こうじ粥で健康づくり
(島根の湿度とこうじで美肌になれる！？)

平成27年度がスタートしました。皆様にとってもセンター職員にとっても実りある一年になりますように努力していきたいと思います。どうぞご指導、ご協力のほどよろしく願いいたします。

